

# 2004

## 謹賀新年

り、新市の名称も「長門市」に決定しました。引き続き、新市の方向ならびに事業計画の指針となる「新市建設計画」の策定や各種事務事業の調整など、将来を見据えたまちづくりのため市民の皆様の声を聴きながら議論を進めてまいります。

分権型社会において基礎自治体である市町村は、高度化する行政事務に的確に対処できる職員集団を有するなどその能力の充実強化が強く求められます。また、地域における住民サービスを担うのは行政のみではなく、住民やコミュニティ組織、NPOなどの民間セクターとも協働して新しい公共空間をつくっていく視点も必要となつてきます。

こうした時代の要請に応えるため、社会福祉法の改正・施行を受け、本市では平成17年3月を目的に「地域福祉計画」の策定を目指します。この計画は、地域社会のすべての住民がパートナーシップの考えを持つことを基本に、地域の生活課題を総合的に把握し、適切なサービスが提供される体制を明らかにする計画です。策定にあたっては具体的な地域の課題を踏まえて「何が必要なのか」「何

ができるのか」を住民の皆様とともに考えていく過程を大切にしたいと思っております。

市長就任にあたり最優先課題としてあげておりましたケーブルテレビが、昨年4月、「ほっちゃテレビ」として開局しました。この8ヶ月で加入世帯は5、800世帯（63・7%）を超え、多くの市民の皆様にご利用の画質をお楽しみいただいています。また、地域チャンネルを活用して市議会中継をはじめ各種行政情報やイベント情報など市民の皆様にご提供していますが、多くの方々から番組づくりについてのご意見やご提言をいただいております。これから「ほっちゃテレビ」を市民の皆様にご育ていただく意味からも、こうしたご要望を活かした運営に努めてまいります。

さらに、昨年は「金子みすゞ」生誕百年の年にあたり、4月には仙崎に「金子みすゞ記念館」がオープンし、全国各地から多くの人たちに仙崎の街を訪れていただきました。この記念館を核として彼女の詩の背景にある「やさしい心とまなざし」を

活かしたまちづくりを進めてまいりたいと思っております。

この長門市は、金子みすゞや捕鯨文化、青海島や赤崎神社棧敷、湯本・俵山温泉など多くの地域資源に恵まれています。こうした地域資源を活かしたまちづくりを進め「長門市」を全国に情報発信することが、観光を中心とした地域振興につながるといふ視点で諸施策を進めてまいりたいと思っております。

その他にも、産業・生活基盤の整備など国・地方を問わず財政事情が苦しい中、課題は山積しております。今後とも行政運営の一層の簡素化・効率化により、限られた財源の中で最大の効果があがるよう努めてまいりますので、市民の皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

どうか、この一年が皆様方にとつて、飛躍の年となりますよう祈念いたしまして年頭のごあいさつといたします。

長門市長 松林 正俊